

The Rotary Club of Sapporo Odori Park

札幌大通公園ロータリークラブ
ライラック通信(2009/6/29号)

会長 大坂忠 幹事 高橋宏

第348回例会報告(2009年6月22日)

- ・次年度各奉仕委員会委員長による活動予定報告がありました。
- ・次年度もクラブ全員で協力し合って、目標を達成できるように頑張りましょう。

第349回例会予定(2009年6月29日)

- ・会長・幹事慰労会

環境問題基礎知識(第41回:環境問題活動の難しさ)

エコ活動は理念や理想からスタートすることが多く、理論や理屈は軽視されがちです。

10年以上前、アフリカ原産の「ケナフ」という一年草を、CO₂の吸収効率が高く、繊維は木材パルプの代わりに紙の原料として利用可能である「地球にやさしい植物」として、世界中で大規模な植栽運動が展開していったことがありました。日本でもかなりの団体や学校(環境教育の一環として)がケナフを栽培したそうです。しかし、当時、植物学者たちは、「ケナフが日本の生態系に与える影響が定かでない以上、市民レベルで行われている河川敷、畦、道路脇などでの植栽はやめるべきだ」と警鐘を鳴らしていました。

植物学者の心配どおりに、ケナフは繁殖力が強いため、葎などの日本の在来種を駆逐しました。葎林の無くなった野鳥が巣を作れなくなり、生態系に大きなダメージを与えました。

紙の原料となると言われていた繊維は、硬すぎて縄を作るくらいしか使い道が無くゴミとなりました。また、ケナフは一年草なので、枯れた後に吸収したCO₂を大気に排出してしまうことも解りました。枯れたケナフを焼却すれば、さらにCO₂を排出してしまうこととなります。

一時の熱狂ぶりとは異なり、今や完全なるやっかいものの雑草ケナフですが、今はバイオ燃料に転用できないか模索されているそうです。

(事務局)〒060-0042 札幌市中央区大通西16丁目1ライオンズマンション第3大通801
TEL/Fax:011-301-2552